

雪山入門 赤城山

山行日：2018年1月14日

コース：駒ヶ岳登山口(9:15)―駒ヶ岳頂上(10:16~10:33)―黒檜山頂上(11:38)―黒檜山展望地―黒檜山頂上(12:00)―(12:59)黒檜山登山口

費用：5,000円暫定

雪山入門として赤城山に登る。早朝に車上から望む赤城山は、西から流れ込む雪のために白くかすんでいたが、アイスバーンを経て到達した全面凍結した大沼(おの)の周回道路から黒檜山は、白い雪化粧で、雪山入門としては期待できた。当日の朝の大沼の気温は氷点下17度であることを下山後知ったが、登山中の、手・ほほの厳しい痛いほどの冷たさを感じたことは、良き雪山の体験であった。

駒ヶ岳登山口から入山した冬山装備を施した面々は、西からの強い寒風を背に受けて駒ヶ岳への急坂の岩場、鉄の階段を登りきると視界の広がる稜線に達し、そこには桐生市街を眼下に望みながら、雪を装う真っ白な富士山を確認できた。関東の山行は富士山を眺めえる箇所が良きルートであることを実感した。駒ヶ岳に長い休みの後、鞍部までいったん下った後に黒檜山への最後の急坂に挑む。到達した黒檜大神のお社をバックに登頂記念の集合写真を撮るが、実は、展望地への移動中に駒ヶ岳頂上があり、仕切り直しを登頂記録の集合写真を取り、楽しい時間を2度体験した。

ここの展望地からの展望は、素晴らしく、雪をかぶった男体山、女峰山をバックに、皇海山を望み、西に転ずれば、同じくどっしりとした武尊山を望む。さらに雲間に浅間山のすそ野が望まれた。展望地では西風も穏やかな流れとなり、各々写真撮影、観望、同定等楽しい時間を過ごした。帰路は、大沼の展望がよい、岩場が多く急坂である坂道を一気に下り、大沼湖畔の黒檜山登山口に無事下山し、雪面縦走と低温体験等をし、入門登山を終了した。

千葉から短時間でしかも安全に行けるこのような雪山として、入門には適した山を実感した。



1回目の記念写真



2回目の記念写真

自主山行：会員個人が主催し、公募しない山行